

マスコミでも報道された新水族博物館の整備を見合わせるという補正予算をめぐって、10日の文教経済常任委員会で激論がたたかわされました。

### 新水族博物館とは・・・

新水族博物館は、現在の水族博物館が築30年に迫り老朽化してきたことから、現地の近くで建て替え（概略50億円）というものです。第5次総合計画にも位置づけられた直江津地区の中心市街地活性化の核になる施設で、木浦正幸市長の重点施策の一つでもあります。「直江津地区の人たちから待ち望まれている」として、19年度当初予算に「検討調査委託料」1200万円が計上されていきました。それが今回「整備見合わせ」として、減額の補正予算が計上されたものです。市は「厳しい財政状況」といつていますから、「見合わせ」は当然の措置だといえます。

### 「議会無視」ではないのか

橋爪法一議員の質問に教育部長は、「決めたのは10月か11月の初め頃」と答弁しています。しかし議会には今日に至るまで何の説明もしてこなかったのです。12月議会に提案されてしかるべきですし、その前に当然、議会に報告がなければなりません。

# 新水族博物館の整備見合わせで激論

## 10日の文教経済常任委員会

ん。「議会軽視」を通り越して「議会無視」です。許されるはずがありません。

### 市教育委員会の独走か？

新水族博物館は、5次総に位置付けられた施設ですから、企画部門との連携・協議が欠かせないはずですが、また、中心市街地活性化の核でもありますから、産業観光部門や建設部門との話し合いも必要です。ところが、委員会質疑の中から浮かび上がったのは、そうした他部門との協調姿勢が見えないということでした。よく「縦割り行政」といわれますが、教育プラザに移ったことが原因でしょうか。

### 一般質問は24人

回30人を えて盛況の一 質問ですが 今 会の通告者は 24人でした 4月の市議選に向けて準備に しいのか 一質問をする がないのか

日本共産党議員団の3人は に一 質問を行います

- 杉本敏宏議員 9番目 (2日目)
- 橋爪法一議員 15番目 (3日目)
- 樋口良子議員 17番目 (3日目)

## 「日本共産党議員団の4年間の歩み」

### 第三回：住民への情報提供と住民参加を求める

合併問題で日本共産党議員団が重視したことの一つに「住民への情報提供と住民参加を求める」ということがあります。合併にあたって住民に何も知らせずに「行政主導」で突き進む自治体が多かったからです。

上越市議会では、合併協議に臨むにあたって、合併対策特別委員会のほかに「合併検討委員会」がつけられました。合併協議会で議論する議題を事前に議会に示し、協議をした結果を持って協議会に出席するということが、合併協議会が終わったら協議の結果を議会に報告するということです。このことによって合併に関わるほとんどのことを議員が承知することができるようになりました。議会に情報を開示することは、住民に情報提供する第一歩です。

「住民説明会を開け」ということが、どこ

の議会でも主張されました。旧上越市でも十数か所で何回か行われましたが、参加者が少なく盛り上がりには欠けたものでした。

また合併協に参加している14市町村の住民の中からは、「住民投票を」という声が多く出されるようになってきました。「住民投票は住民参加の最高の形態」ですから、日本共産党議員団は議会でも実現に努力するとともに、住民運動にも加わって住民投票の実現に向けてがんばりました。「住民投票を」という請願も議会に出されました。しかしどの自治体でも議会内の多数派に阻まれて、住民投票は実現しませんでした。

「住民参加」はますます重要になってきています。上越市で実現した「準公選制」の地域協議会は、その意味でも全国から注目されているわけです。



## 日本共産党上越市議員団ニュース

No.129 2008年3月16日

連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)  
 樋口良子 544-6802 (中門前3)  
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)  
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)